

IV 平和と文化の発信

戦後文化資料等展示事業（予算額：約1億9497万円）

沖縄市は全国的にも極めて個性的な戦後史を歩み、ユニークな文化を育んできました。この戦後史（文化）をまちづくりに活かそうと、沖縄市では商店街（パルミラ通り）にヒストリート・ヒストリートⅡという空き店舗を利用した展示室を設けました。ヒストリートでは常設展と年に数回の企画展を開催するとともに、「KOZA BUNKA BOX」という戦後情報誌を発刊して本市の戦後歴史文化情報を発信しながら、市民をはじめ、修学旅行生、大学関係者、観光客等を商店街に誘客し、中心市街地の活性化を図ります。

平成29年度は、資料展示室等の拡充を目的に、新たなヒストリートを整備し、平成30年3月下旬にプレオープンします。



文化芸能推進事業（予算額：約4548万円）

優れた文化芸術作品を鑑賞する機会を提供し、地域に根ざした個性豊かな市民文化の創造に努めます。また、文化芸能に親しみやすい市民参加型事業を実施し、文化芸能に対する関心・理解を深めるとともに、市民による文化活動を積極的に支援し、文化資源を活用した賑わいのあるまちづくりに取り組みます。



IV 平和と文化の発信

自治会振興費（予算額：約829万円）

地域コミュニティを活性化する自治会への加入促進につながる支援のほか、自治会の軽貨物自動車や備品購入の助成、一般コミュニティ助成事業、地域ものづくり活動の支援を行います。



総合運動場整備事業（予算額：約4億8582万円）

コザ運動公園にある

- ① 陸上競技場については、フィールド舗装や排水管が老朽化していることから、それらの取り換えるための改修工事を行います。
- ② 体育館については、各種イベントに対応できるよう、照明器具の増設などを行います。
- ③ 投球練習場については、既存の施設が手狭であるため、規模を拡張するための改築工事を行います。



Ⅳ 平和と文化の発信

平和行政推進事業（予算額：約1198万円）

沖縄戦の悲惨な体験や教訓を風化させることなく、後世に平和な未来を受け継ぐために以下の取り組みを行います。

- ・『平和』をテーマに写真を募集する「市民の眼・平和写真展」
- ・各中学校から推薦された中学生16名と公募によって選ばれた社会人3名を平和大使として認定する「平和大使研修」
- ・市民団体等と共に実施する「平和月間企画展（8月1日から9月7日まで）」
- ・折り鶴に願いを込めギネス記録に挑戦する「折り鶴プロジェクト」
- ・平和大使の活動やコンサート等を通して平和を発信する「沖縄市民平和の日記念行事（9月7日）」
- ・平和について学ぶ座学や、市内の戦跡等をガイドと共に巡る「市民平和講座」
- ・沖縄市平和イメージキャラクターソテツの妖精『キューナ』による地域や学校等への平和発信活動

